

県内景気動向調査 報告書

2 0 2 6 年 1 月

遠田商工会

<目次>

第1部：県内の景気動向

①経済動向

1－1．鉱工業生産指数・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1－2．新設住宅着工戸数（指数）	
1－3．公共工事請負金額（指数）・・・・・・・・	4
1－4．百貨店・スーパー販売額（指数）	
1－5．有効求人倍率・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1－6．新規求人倍率	

②企業景気動向

2－1．業況判断 DI・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2－2．売上 DI・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2－3．採算 DI・・・・・・・・・・・・・・・・	10

第2部：遠田商工会管内の観光動向

①遠田管内の宿泊観光者数・・・・・・・・	12
----------------------	----

②遠田管内の主要観光スポット入込者数	
--------------------	--

＜本報告書における指数の計算方法について＞

①以下の指数は、平成 27 年の数値を 100 とし、季節変動調整済。

【計算式】

出典統計表の計算方法による

【対象】

1－1．鉱工業生産指数

②以下の指数は、本報告書において経年比較をしやすいするために正規化を図っている。正規化の方法は、平成 30 年の数値を 100 として下記の計算式にて計算。なお、季節変動は未調整。

【計算式】

平成 30 年全体の実数 ÷ 12 …… A

計算対象年月の実数 …… B

指数 = $B \div A \times 100$

【対象】

1－2．新設住宅着工戸数（指数）

1－3．公共工事請負金額（指数）

1－4．百貨店・スーパー販売額（指数）

＜本報告書における DI の計算方法について＞

DI は各出典統計表の計算方法による。

＜各種統計値の更新間隔について＞

本文書で使用する統計値は、四半期単位での比較が可能になるよう、更新間隔が月単位及び四半期単位のを主に使用する。

＜商圈内の消費購買動向について＞

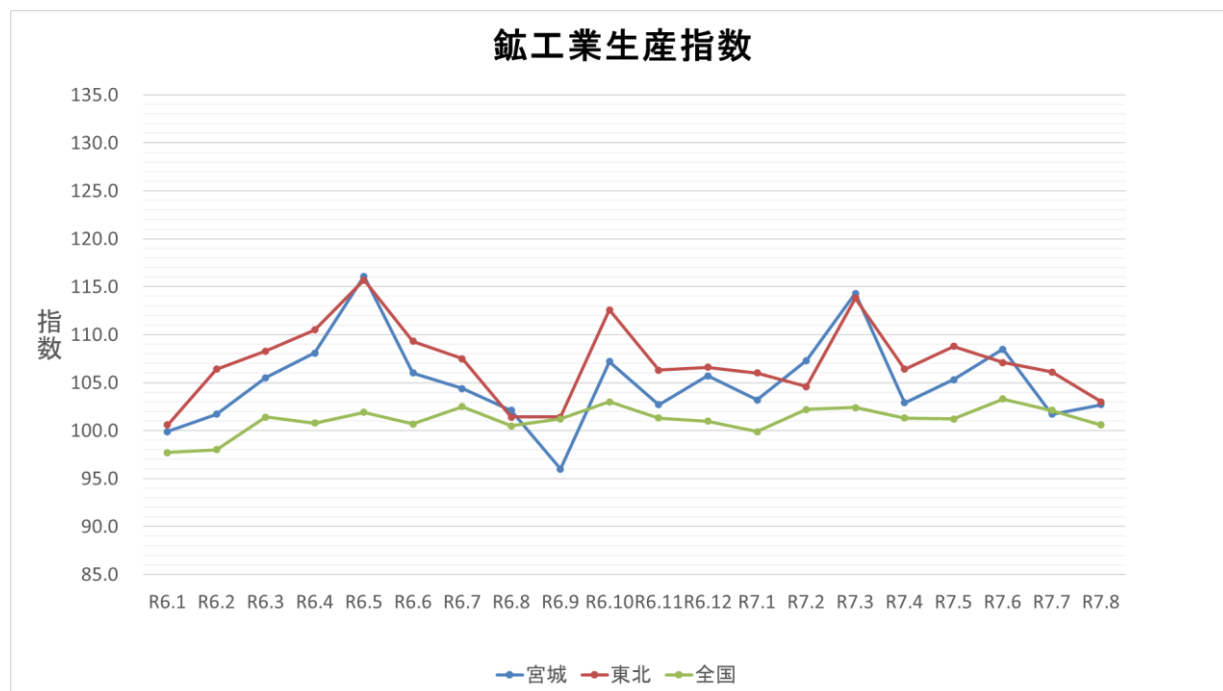
標記動向の分析については令和 4 年度の報告書に掲載していたが、現在標記調査は行われていないと
のことであったため、掲載を行わない。

第1部 県内の景気動向

(出典：みやぎ経済月報)

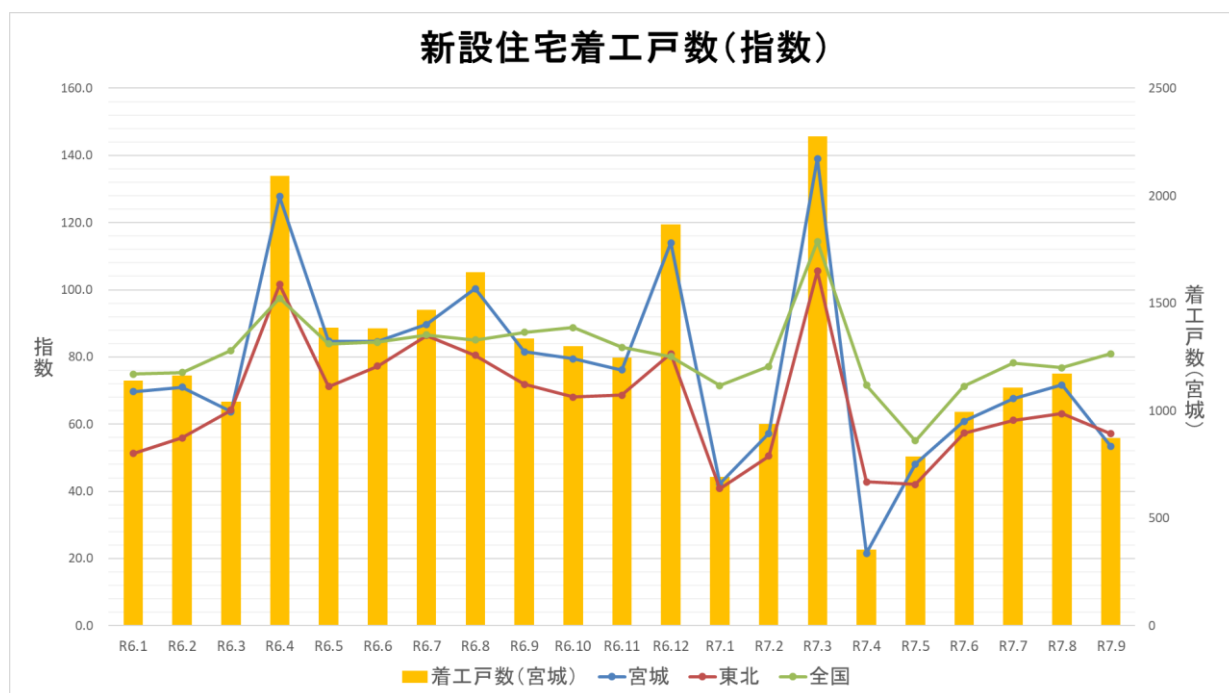
①経済動向

1-1. 鉱工業生産指数



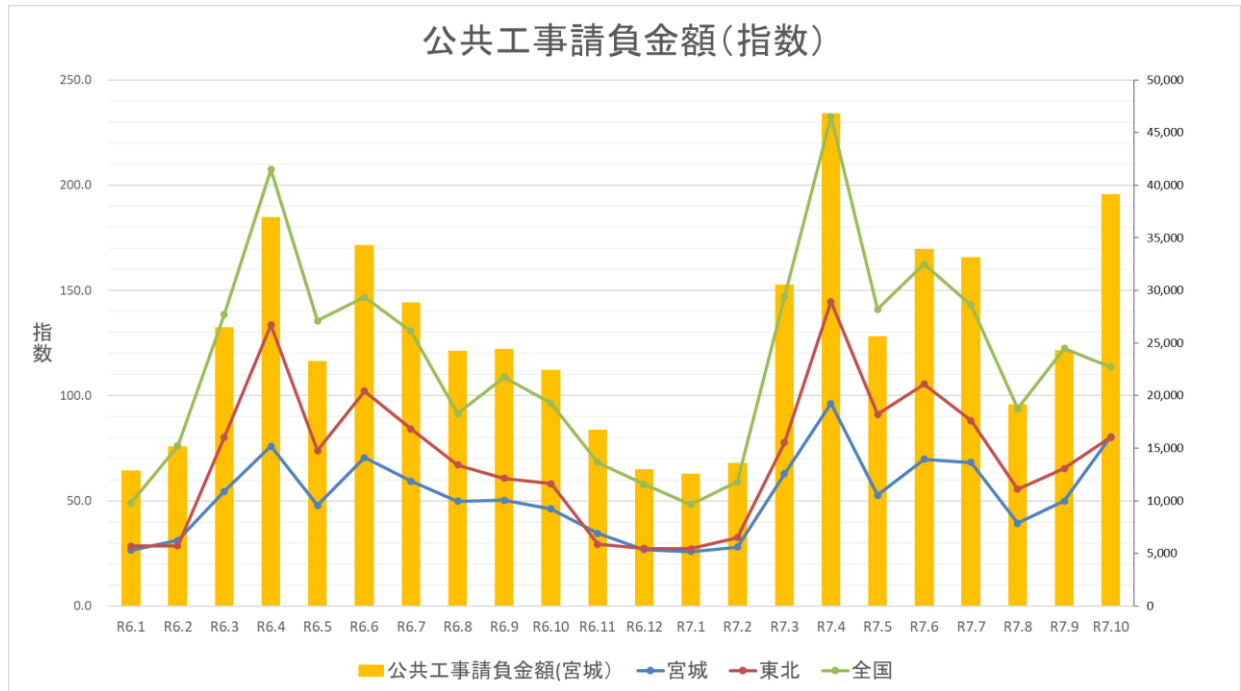
鉱工業生産指数は、全国的には変化の波は緩やかであるが、宮城・東北においては指数の変動が激しいものの、月が進むにつれて変動が穏やかになっている。

1-2. 新設住宅着工戸数(指数)



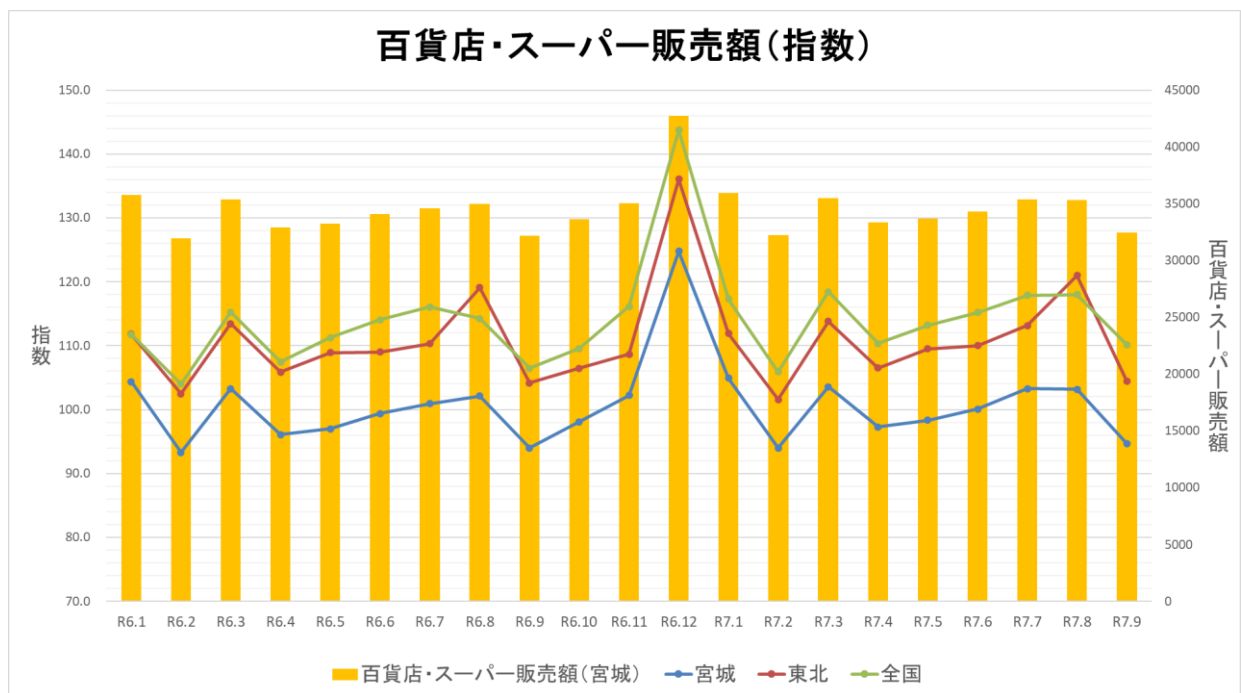
新設住宅着工戸数については、令和6年及び7年とも春先あたりにかけて着工戸数が増加に転じる傾向がわかる。直近では宮城・東北の指数が減少傾向にあり、需要がおちついている。

1－3. 公共工事請負金額（指数）



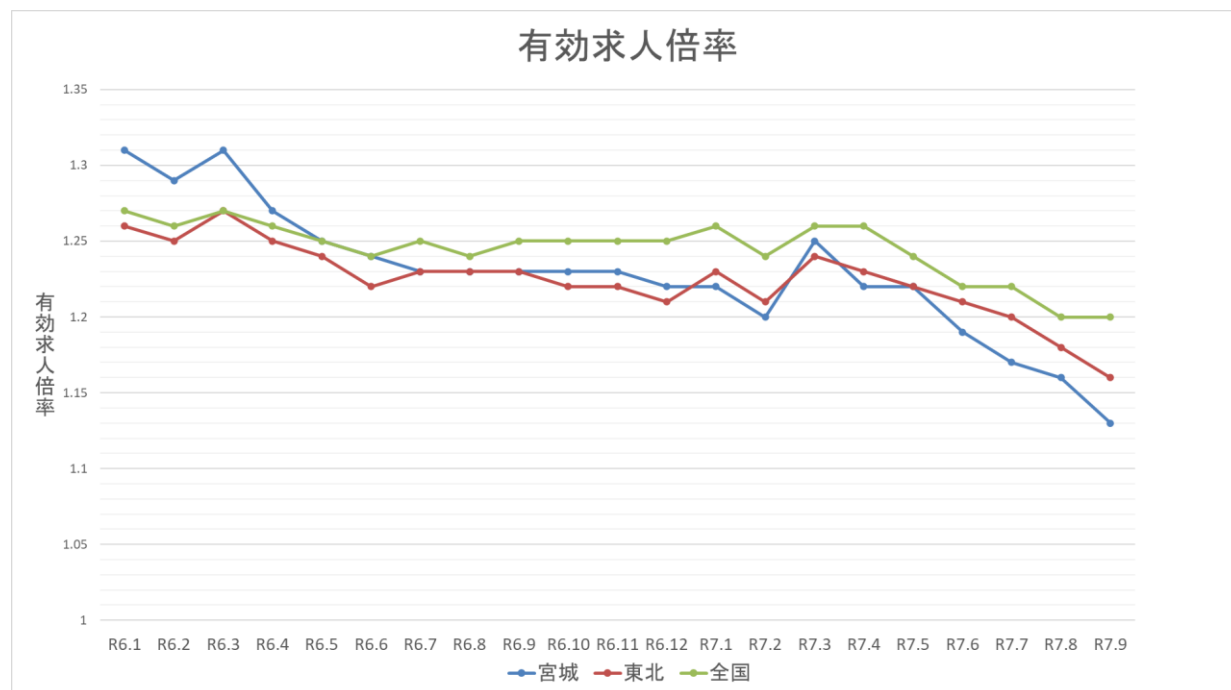
公共工事請負額については、請負額・指数ともに令和6年及び7年の4月に増加し、その後減少していくという傾向が見える。

1－4. 百貨店・スーパー販売額（指数）



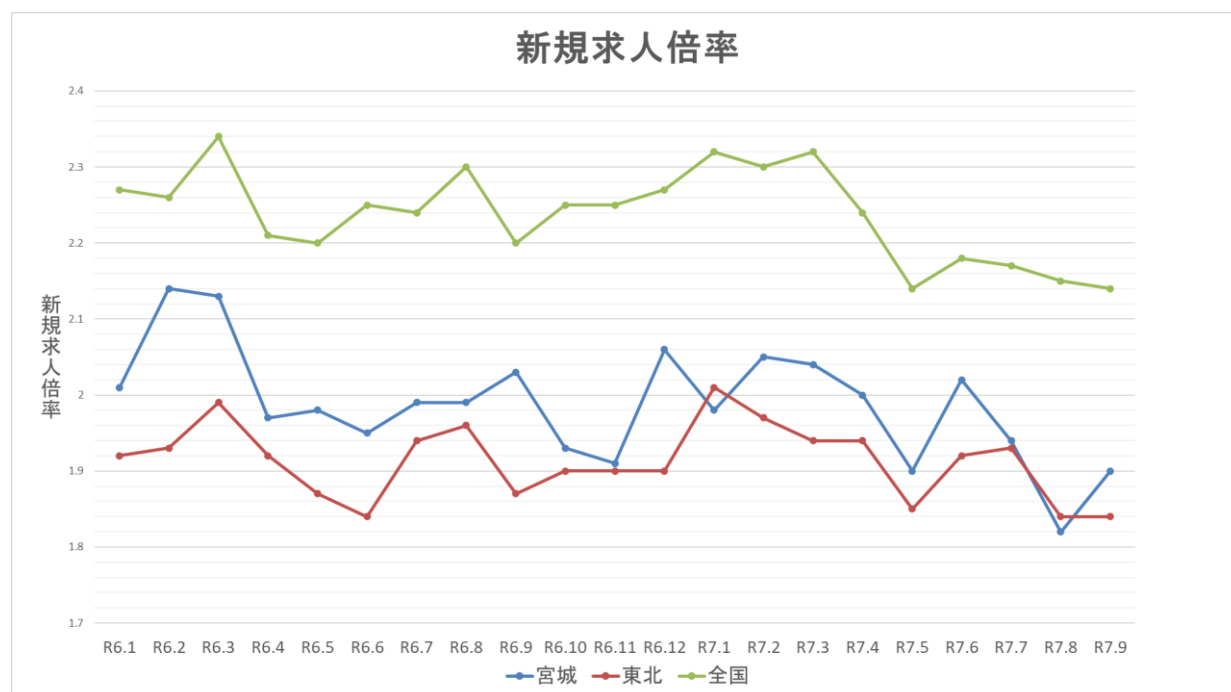
百貨店・スーパー販売額については、令和6年12月に販売額・指数ともに急激な伸びが見られたが、以降は変動が緩やかになり、直近では下降傾向にある。

1－5．有効求人倍率



有効求人倍率については全体的に下降傾向であり、宮城の有効求人倍率は直近で大きく下降している。

1－6．新規求人倍率

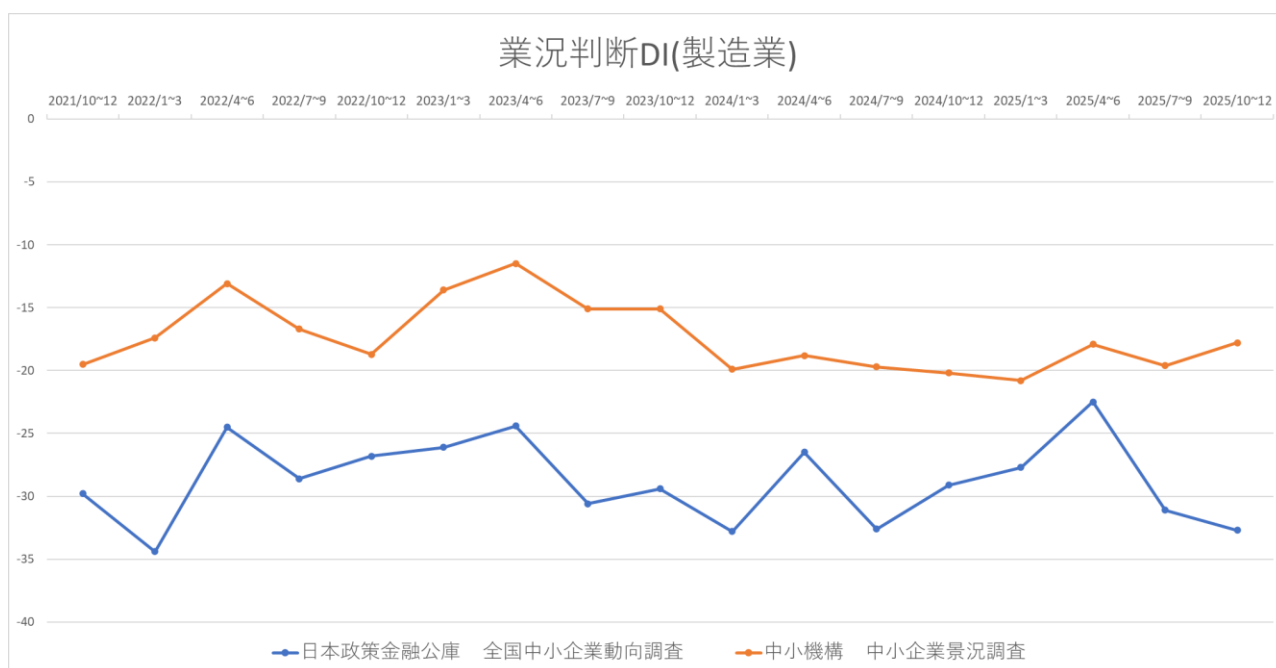


新規求人倍率については、令和7年に入ってから多少持ち直しており、宮城では直近の倍率が上昇しているものの、全体的には下降している。

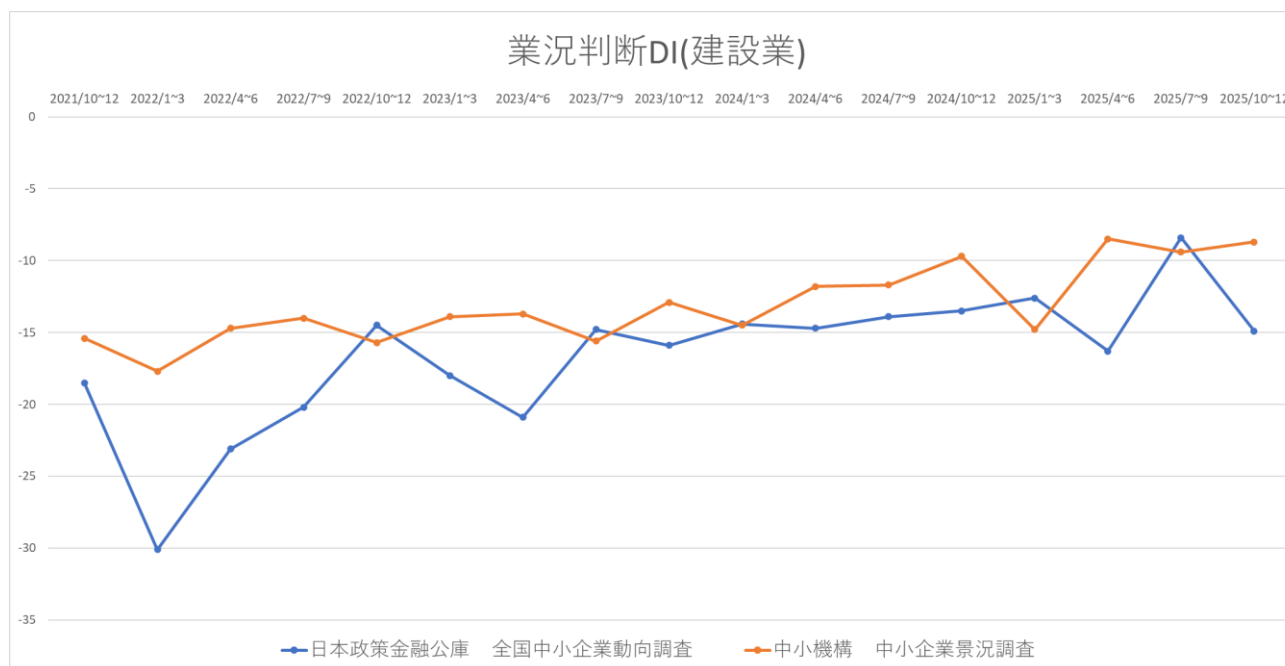
②企業景気動向

(出典：日本政策金融公庫 全国中小企業動向調査、中小機構 中小企業景況調査)

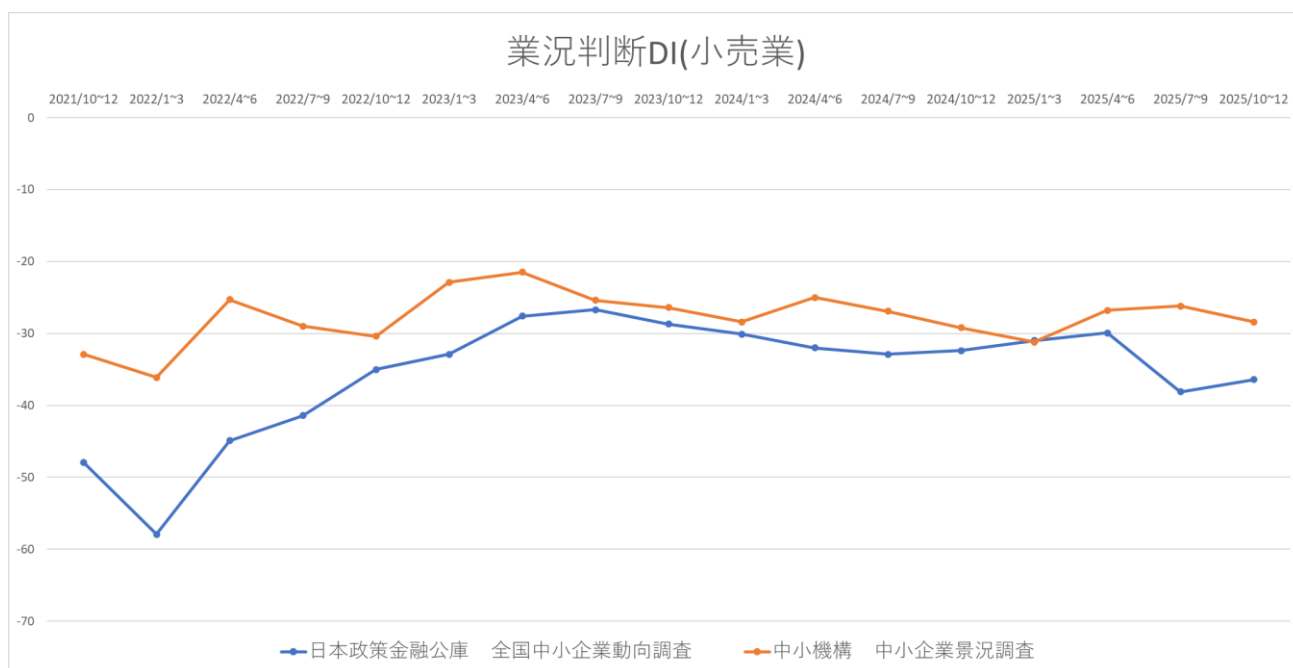
2-1. 業況判断 DI



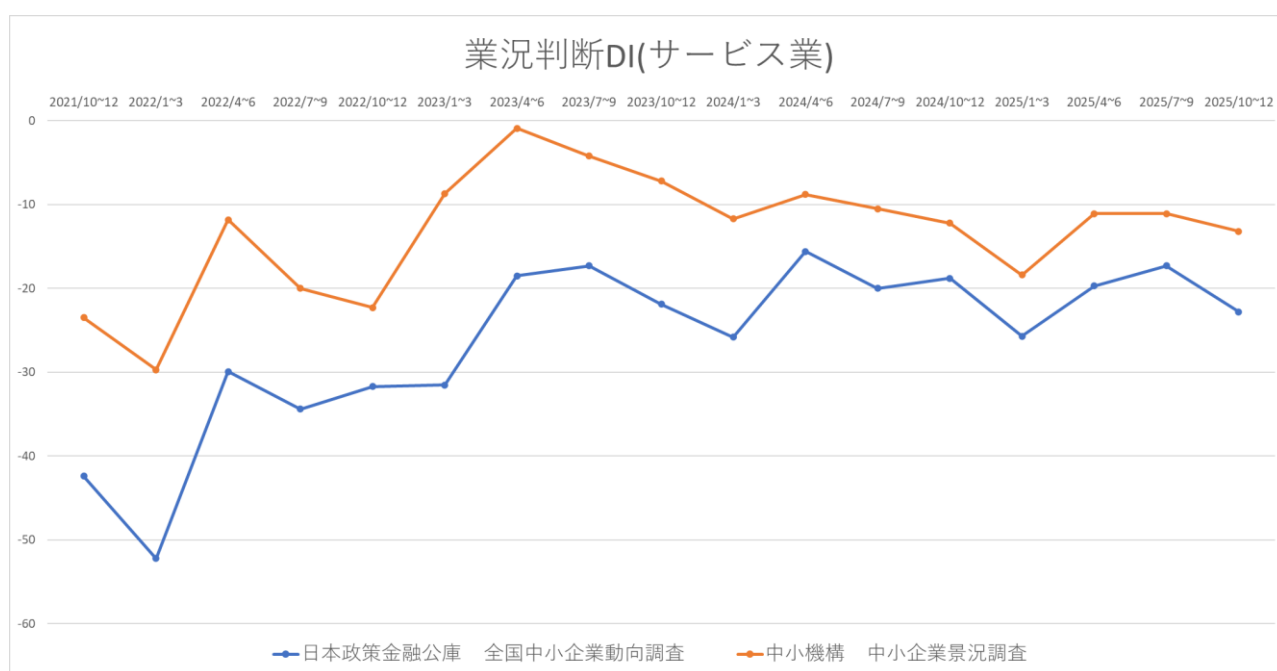
製造業においては、業況が悪い傾向が続いており、厳しい状況となっている。



建設業においては、やや持ち直しているところもあるが、全体的には厳しい状況となっている。

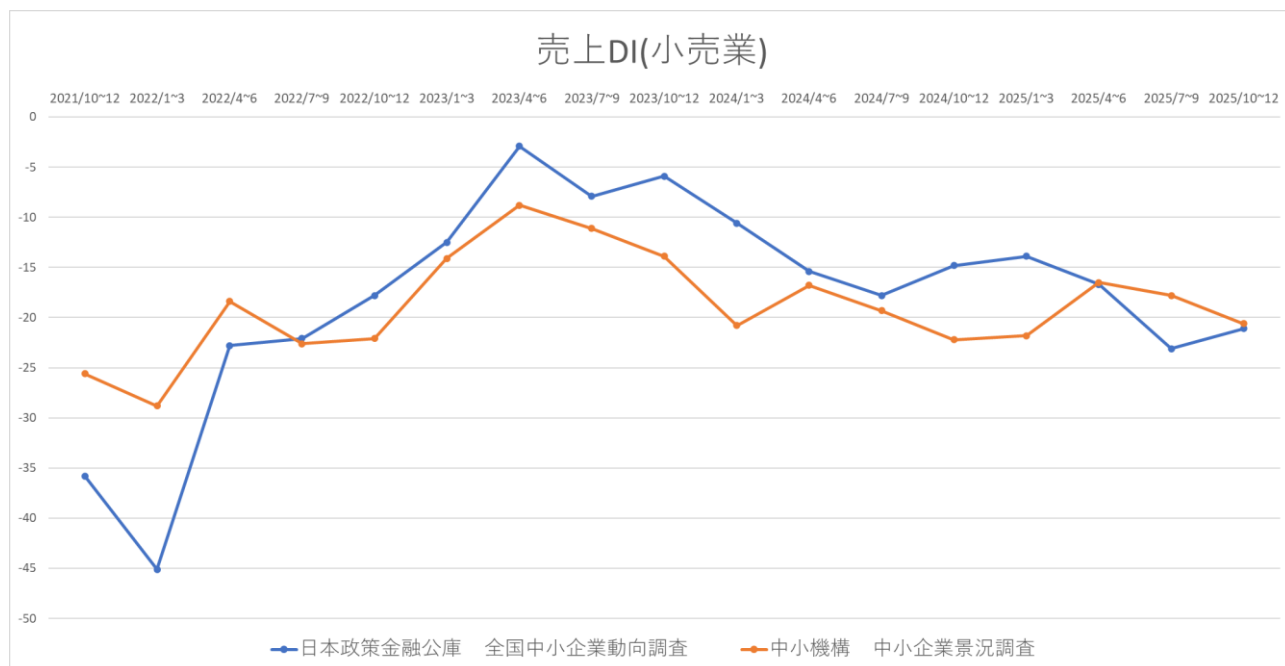


小売業においては、直近で大きな変化は見られないものの、依然として業況は悪化したままである。

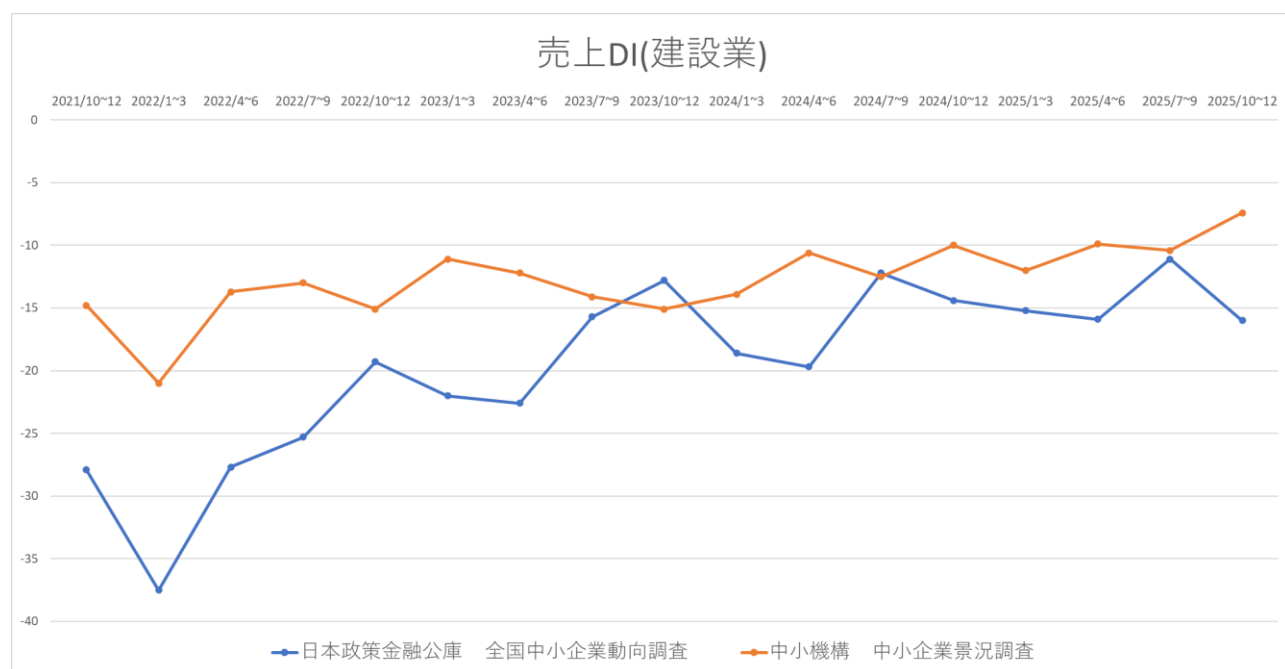


サービス業においては、令和7年に入って若干良化が見られたものの、再び悪化に転じている。

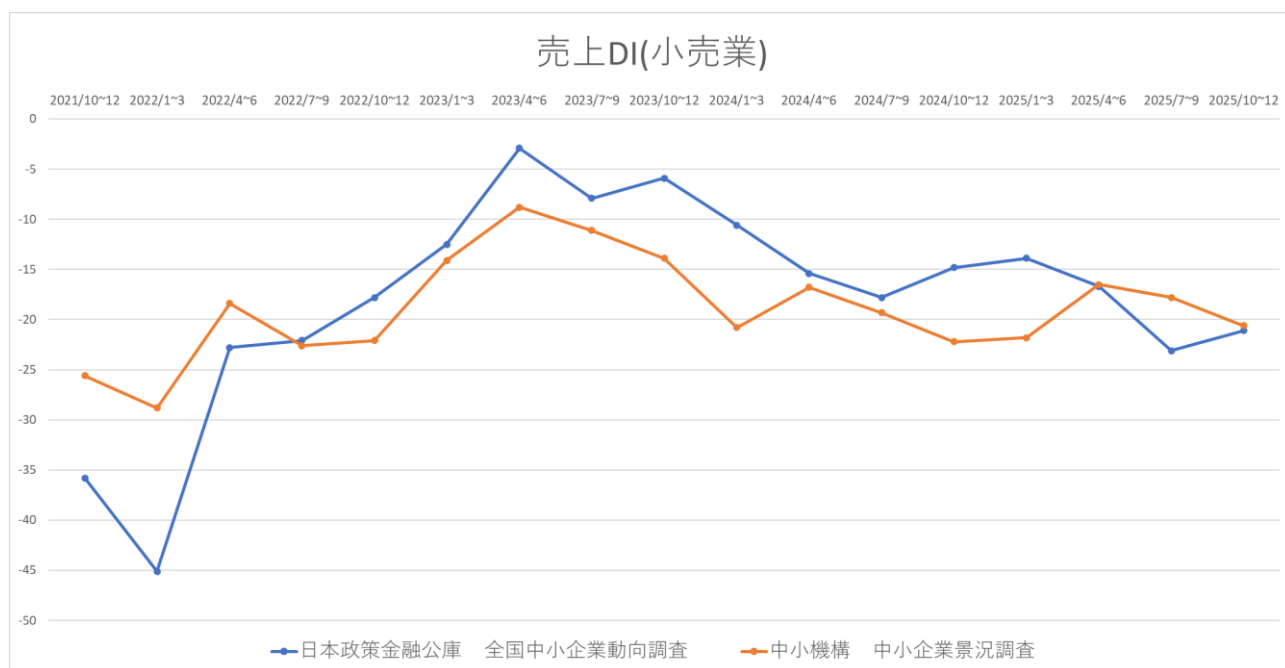
2-2. 売上DI



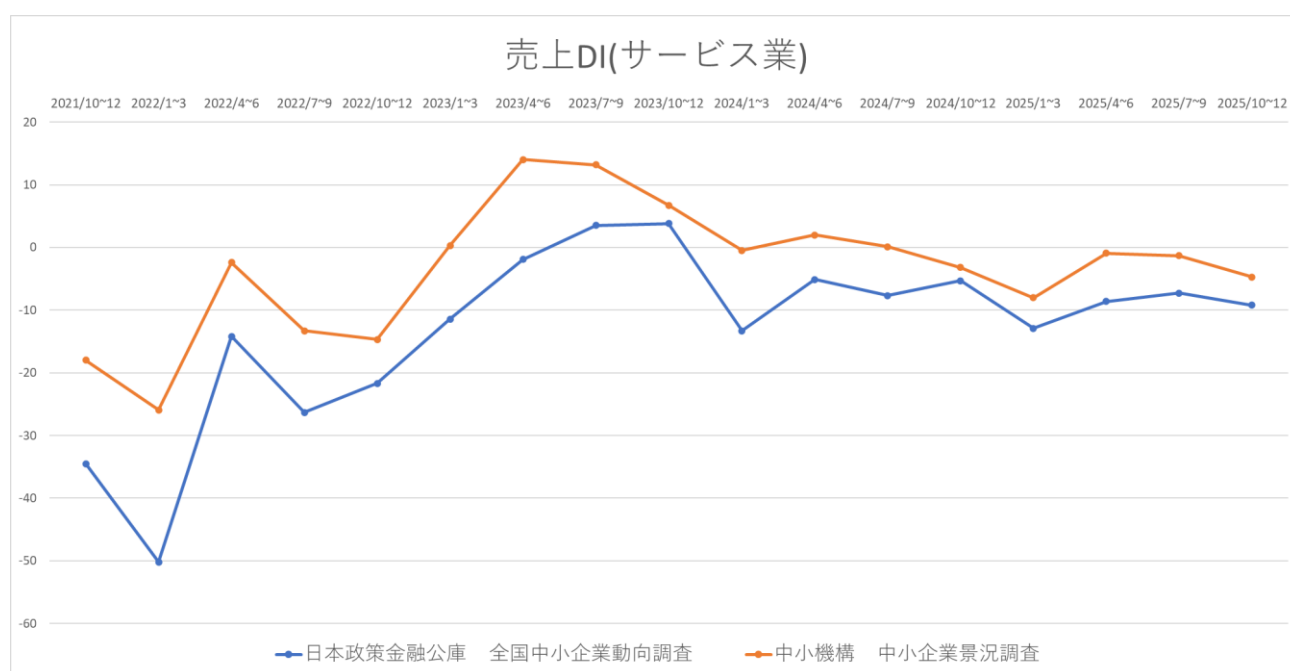
製造業においては、直近において下降しており、厳しい状況であることがうかがえる。



建設業においては、やや上向きの面も見られるが、全体的にはまだ厳しい状況となっている。

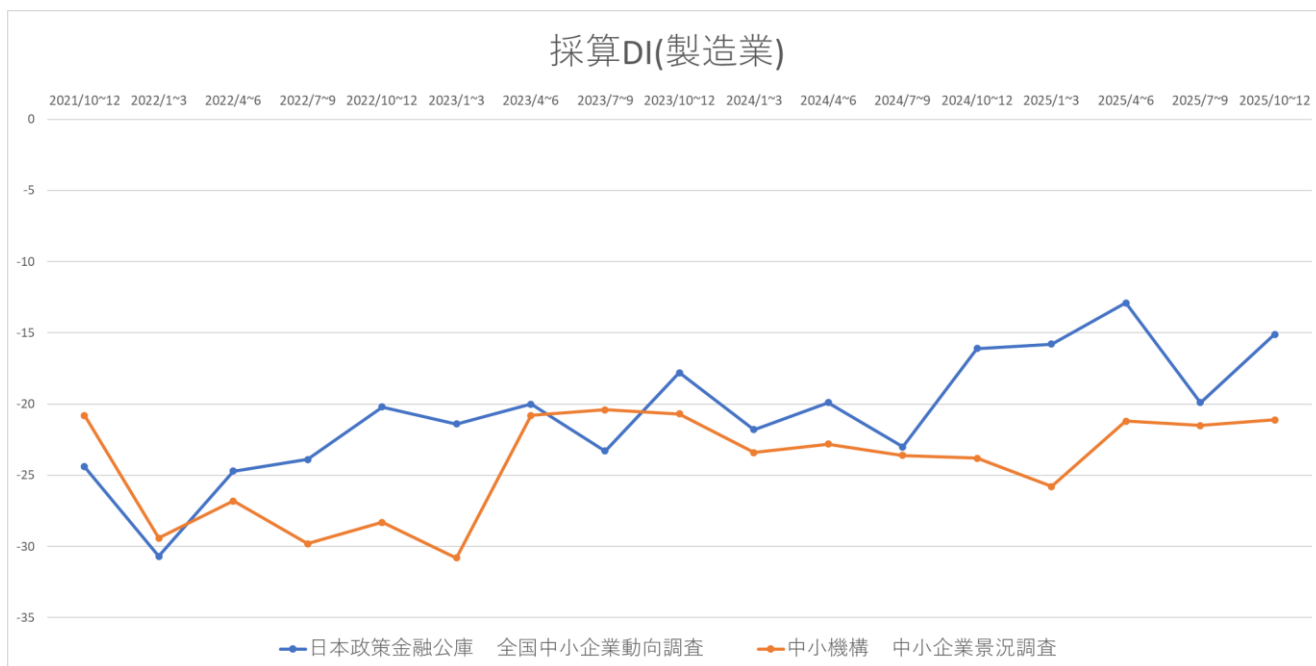


小売業においては、令和6年～7年にかけて下降傾向にあり、厳しい状況となっている。

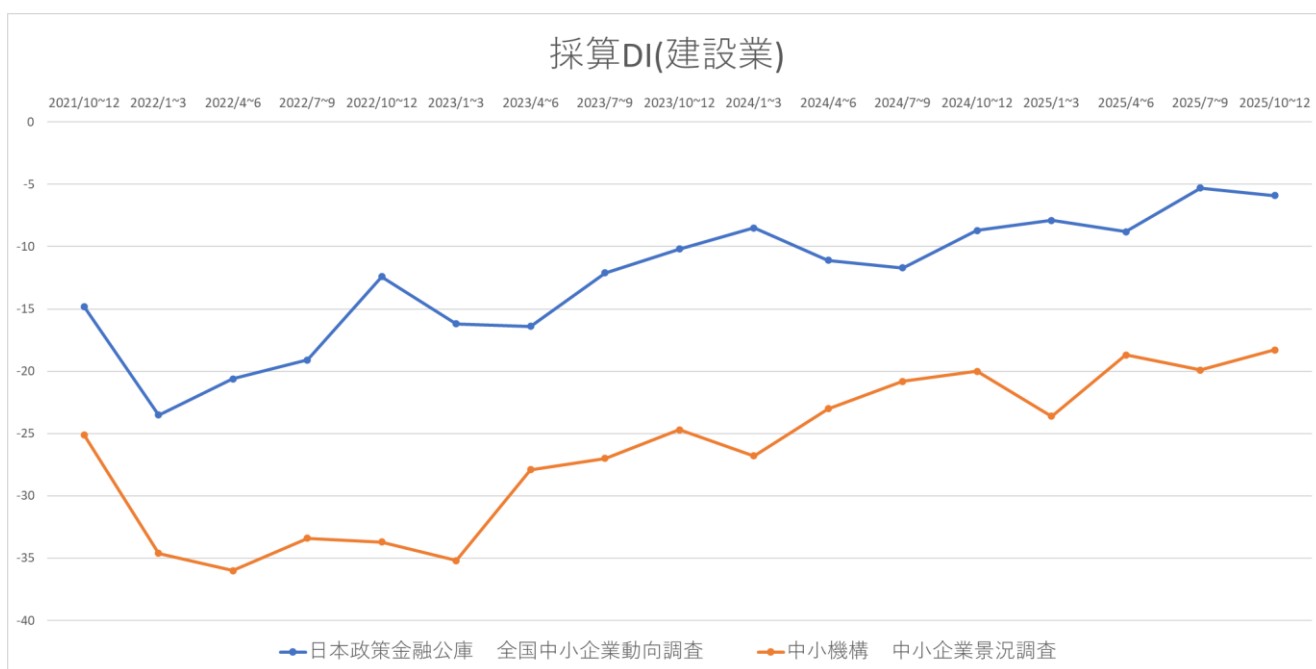


サービス業においては、直近で若干持ち直しつつあるが、まだ厳しい状況にある。

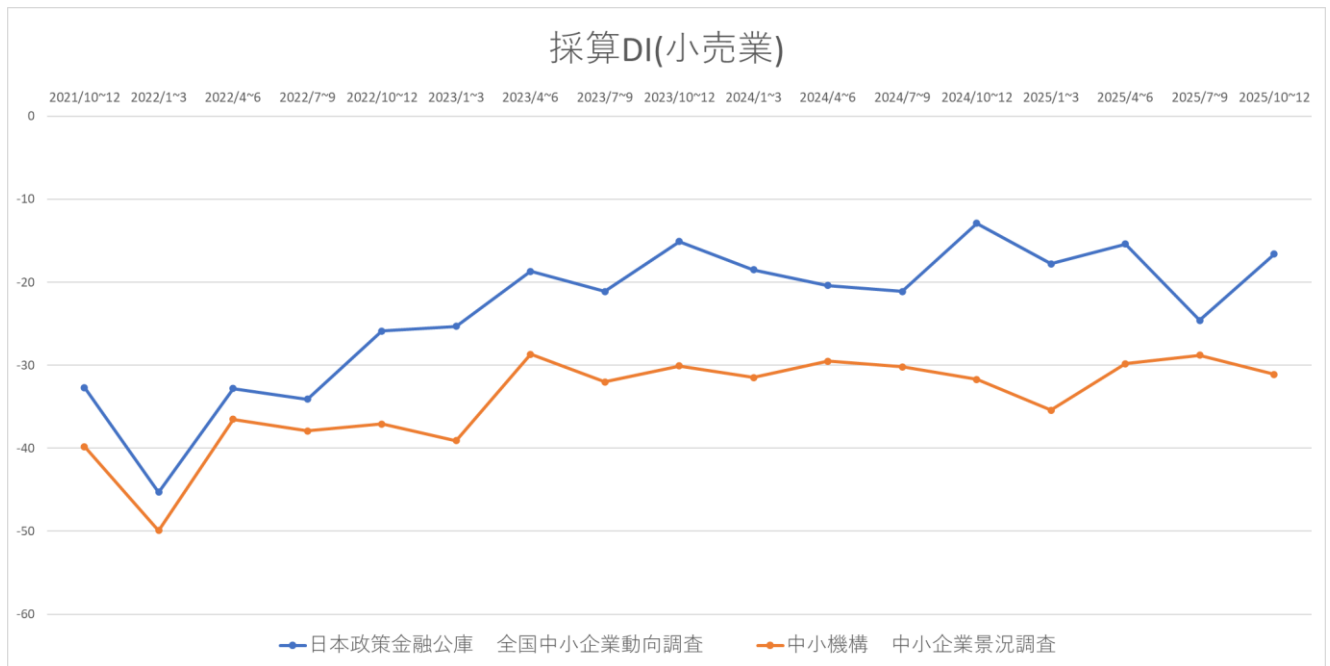
2-3. 採算DI



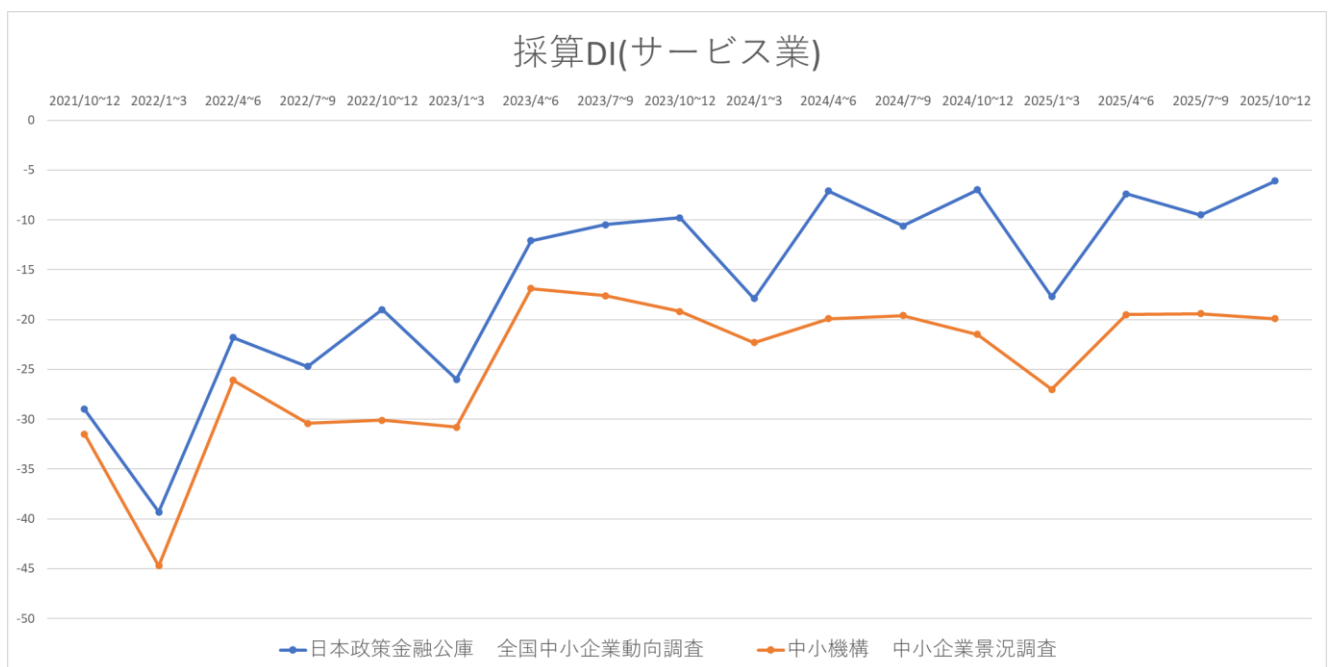
製造業においては、直近で若干の良化はあるものの、全体的には厳しい状況。



建設業においては、少しずつではあるが復調気配にある。



小売業においては、緩やかではあるが採算が改善傾向にある。

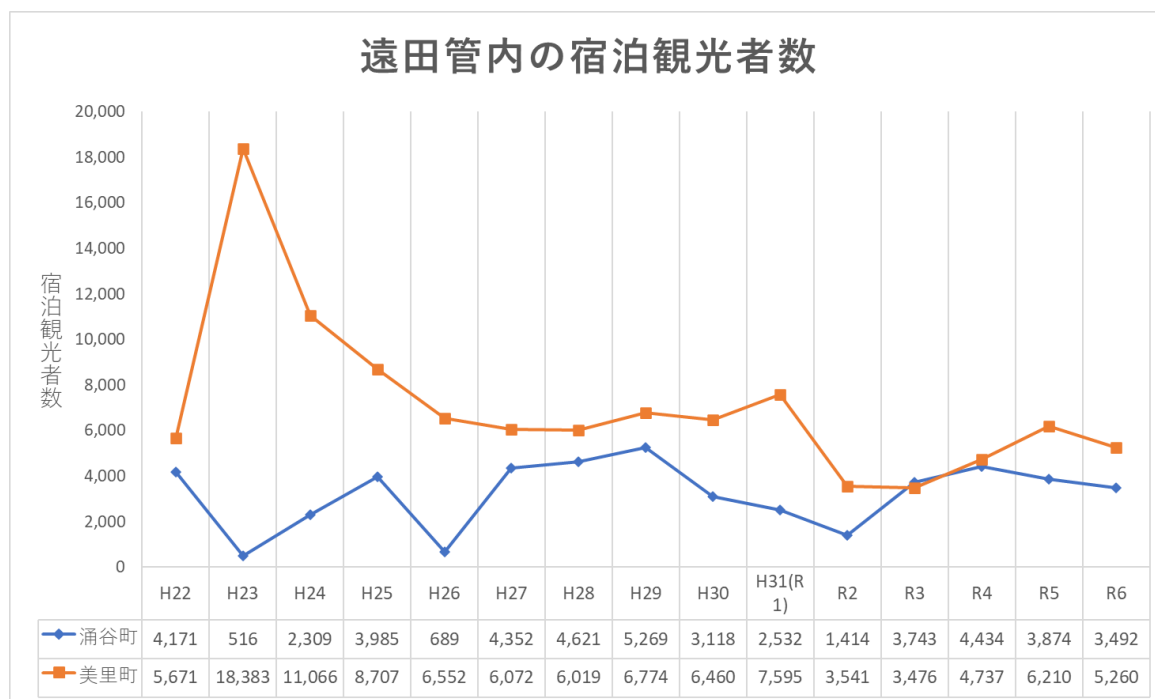


サービス業においては、良化と下降を繰り返しているものの、全体的に改善傾向となっている。

第2部：遠田商工会管内の観光動向

① 遠田管内の宿泊観光客数

令和2年に新型コロナウイルス蔓延による影響で宿泊観光客数が両町とも減少した。その後回復傾向にあったが、令和6年においては両町ともに減少傾向にある。なお、美里町における平成23年の宿泊観光客数が突出しているのは、同年に会津美里町も参加して行われた「美里町物産観光復興祭 2011」が開催された影響と考えられる。



(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R6年)

② 遠田管内の主要観光スポット入込者数

涌谷町においては、全体的に入込者数が増加傾向にある。美里町においては花野果市場が依然として管内で最も入込者数が多いものの、町全体で見ると全体的には入込者数は減少傾向にある。

町名	施設名	入込者数		
		R4	R5	R6
涌谷町	城山公園	2,662	30,452	45,740
	涌谷町くがね創庫	1,928	1,281	1,592
美里町	でんえん土田畑村	3,318	3,465	3,391
	農産物直売所「花野果市場」	235,520	238,628	238,199
	田園フェスティバル	9,000	12,000	11,000

(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R6年)